

令和9年度 入学者選抜募集要項



沖縄県立小禄高等学校

〒901-0151 沖縄県那覇市鏡原町 22 番 1 号

TEL (098)857-0481 FAX (098)857-5456

HP <https://www.oroku-h.open.ed.jp/>



目 次

I 方針	2
II 募集定員及び通学区域	2
1. 募集定員	
2. 通学区域	
III 特色選抜	3
1. 求める生徒像及び特色選抜において重視する観点	
2. 出願資格	
3. 出願の要件	
4. 特別枠(部活動活性化)	
5. 出願期間	
6. 出願手続	
7. 選抜の方法	
8. 面接・特別枠(部活動活性化)の実技審査	
9. 合格発表及び合格者オリエンテーション	
IV 一般選抜	8
1. 出願資格	
2. 出願期間	
3. 出願手続	
4. 志願変更	
5. 選抜の方法	
6. 学力検査・面接	
7. 受検の心得	
8. 合格発表及び合格者オリエンテーション	
V 第2次募集	12
1. 出願資格	
2. 出願期間	
3. 出願手続	
4. 志願変更	
5. 選抜の方法	
6. 面接の実施	
7. 合格発表及び合格者オリエンテーション	
VI 追検査	13
1. 申し出等の日程及び手続	
2. 学力検査・面接	
3. 受検の心得	
4. 合格発表及び合格者オリエンテーション	
VII 芸術教養コース特別枠(部活動活性化)の実技審査について	14
1. 吹奏楽	
2. 合唱	
3. 美術	
4. 書道	

入 学 者 選 拔 募 集 要 項

沖縄県教育委員会の定める「令和 9 年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項」に基づき、下記のとおり生徒を募集する。

I 方針

沖縄県立小禄高等学校入学者の選抜は、高等学校及び中学校教育の正常な発展を期し、公正かつ妥当な方法で、本校の教育を受けるに足る能力と適性等を備えた者を選抜するために、次の方針に基づいて実施する。

- (1) 選抜は、本校の校長が学校教育法施行規則第 90 条の規定により、中学校長から送付された調査書その他必要な書類、選抜のための学力検査の成績等及び面接の結果を基にして行う。
- (2) 選抜は、入学志願者(以下「志願者」という。)が募集定員を超過すると否とにかかわらず行う。
- (3) 一般選抜で行う学力検査は、中学校における国語、社会、数学、理科及び英語の 5 教科について、一般選抜志願者全員に対して行う。なお、英語については、聞き取り検査を実施する。
- (4) 学力検査を実施する教科の配点は 60 点とし、本校独自の学力検査は実施しない。
- (5) 一般選抜において調査書と学力検査等の比重は、5:5 とする。
- (6) 令和 9 年度沖縄県立高等学校入学者選抜実施要項に従って特色選抜を実施する。
- (7) 令和 9 年度沖縄県立高等学校入学者選抜実施要項に従って、合格者が募集定員に満たない場合は第 2 次募集を実施する。

II 募集定員及び通学区域

1. 募集定員

課 程	学 科	コ ー ス	クラス数	募集定員	内特色選抜 最大25%	内一般選抜
全日制	普通科	普通コース	普通6 特進1	280	(70)	(210)
		情報ビジネスコース	1	40	(10)	(30)
		芸術教養コース	1	40	(10)	(30)
		合 計	9	360	(90)	(270)

2. 通学区域

(1) 普通コース・情報ビジネスコース

沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第 2 条関係別表第 1 及び別表第 2 のとおり
(別表第 1)

西原町、浦添市、那覇市、豊見城市

(別表第 2)

伊平屋村、伊是名村、伊江村、本部町(水納中学校区域のみ)、うるま市(津堅中学校区域のみ)
南城市(久高中学校区域のみ)、南大東村、北大東村、座間味村、渡嘉敷村、粟国村
渡名喜村、多良間村、竹富町、与那国町

(2) 芸術教養コース

沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第 2 条のとおり

県全域

(3) 注意事項

- ① 上記通学区域以外から定員の 10%以内まで入学することが出来る(沖縄県立高等学校通学区域に関する規則第 3 条 2 項)。
- ② 上記(3)①にかかわらず、保護者の住所が入学の日までに上記(1)(2)の学区に移転することが確実であると認められる者は、本校に入学することができる(沖縄県立高等学校通学区域に関する規則第 4 条 1 項)。この規定により入学しようとする者は、通学区域に関する規則第 4 条 2 項に従い、関係書類を出身中学校長を経て本校校長に提出しなければならない。

Ⅲ 特色選抜

1. 求める生徒像及び特色選抜において重視する観点

(1) 求める生徒像(アドミッションポリシー)

- ① 本校 3 コースの特色をしっかりと理解し、本校入学の明確な意思を持ち、探究心旺盛な生徒
- ② 文武両道を実践でき、高い志と様々な環境に適応し、何事にも果敢に取り組める生徒
- ③ 他者とのつながりを大切にし、常に感謝の心を忘れない生徒
- ④ 小緑高校生としての自覚と誇りを持ち、仲間と共に成長し続ける生徒

(2) 特色選抜において重視する観点

- ① 普通コース: 仲間と切磋琢磨して学力向上等に努め、強い意志を持って国公立大学及び私立大学等へ進学をめざす生徒
- ② 情報ビジネスコース: 商業系の各種検定資格取得や情報処理技術の習得に努め、文系大学等への進学をめざす生徒
- ③ 芸術教養コース: 芸術的才能を伸ばし、芸術系大学及び幅広く大学等への進学をめざす生徒

2. 出願資格

次の①、②及び③(③は特別枠のみ)に該当する者。

- ① 沖縄県内の中学校又はこれに準ずる学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程(以下、「中学校等」という。)を募集年度の 3 月に卒業又は修了(以下「卒業」という。)見込みの者
- ② 上記「1. 求める生徒像及び特色選抜において重視する観点」を理解し、特色選抜出願要件等を満たす者
- ③ 本校の指定する部活動において、部活動活性化に努める意志が明確である者

3. 出願の要件

次の①及び②の要件を満たしている者。

- ① 中学校等における諸活動の実績について、自ら説明ができる者。なお、当該活動の実績については、最も顕著な実績 1 つのみを申請できる。その際、証明する資料(賞状・認定証等)の写しを提出すること。実績は中学校等入学から令和 8 年 12 月 28 日までのものとする。
- ② 次の評定平均値を満たしている者

コース	特色選抜(定員の 20%)	特別枠(部活動活性化・定員の 5%)
普通	評定平均値が 3.2 以上の者	評定平均値が 2.8 以上の者
情報ビジネス	評定平均値が 3.2 以上の者	評定平均値が 2.8 以上の者
芸術教養	評定平均値が 3.2 以上の者 但し、音楽を専攻する者については音楽の評定平均値が 4.0 以上、美術を専攻する者については美術の評定平均値が 4.0 以上とする	評定平均値が 2.8 以上の者 但し、音楽を専攻する者については音楽の評定平均値が 4.0 以上、美術を専攻する者については美術の評定平均値が 4.0 以上とする

※ 評定平均値 = (1 年～3 年までの全教科の評定の合計) ÷ 27 (小数第 2 位を四捨五入)

4. 特別枠(部活動活性化)

(1) 趣旨: 「部活動を通じて学校の活性化に努める者に対する募集」

(2) 募集種目: 次に挙げる本校の部活動と同じ活動において、具体的に表現し、説明ができること。

・男子バスケットボール	・女子バスケットボール	・女子バレーボール
・野球(男子)	・剣道(男女)	・空手道(男女)
・男子バドミントン		

※ 芸術教養コースについては、上の種目に「吹奏楽・合唱・美術・書道」を加える

(3) 注意事項

- ① 志願者は実技審査を行う。芸術教養コースの「吹奏楽・合唱・美術・書道」については、事前に指定した課題の提出あり。(下記「Ⅶ 芸術教養コース特別枠の実技審査について」参照)
- ② 出願の際、志願者は Web 出願システムに「特別枠の希望」にチェックを入れ、「特色選抜・特別枠申請書」(小緑特別枠第 1 号様式)を提出。出身中学校は「特色選抜 Web 出願者名簿」または「特色選抜志願者名簿」(特色第 2 号様式)の備考欄に「特別枠(競技名)」と明記する。

5. 出願期間

(1) 沖縄県立学校入学者選抜 Web 出願システム情報登録期間
令和 9 年 1 月 18 日(月)～1 月 28 日(木) 正午 12:00 まで

(2) 書類提出期間

令和 9 年 2 月 1 日(月)～2 月 2 日(火) 午後 2:00 まで

※ 提出方法は原則郵送で、この期限までに必着のこと。ただし、本校校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。

6. 出願手続

(1) 志願者の手続き

① 沖縄県立学校入学者選抜 Web 出願システム(以下、「Web 出願システム」という。)において、必要な志願情報を登録する。(Web 出願システムを利用できない者は下記(4)参照。)

② 下記(3)(4)の出願書類等を中学校等の校長に提出する。

※ 特色選抜のみの出願は認めない。

(2) 出身中学校等の手続き

① 志願者に係る下記(3)(4)の出願書類等を出願期間内に一括して郵送にて提出する。

提出先 〒901-0151 沖縄県那覇市鏡原町 22 番 1 号

沖縄県立小禄高等学校長 竹西 正好 宛

(3) 出願書類等

●印は対象者のみ

	特色選抜出願書類等	手続き	書類作成上の注意点
①	志願情報登録	Web 出願システム	
②	諸活動の実績証明のための資料 (小禄特色選抜第 2 号様式)	Web 出願システム	・「3. 出願の要件」の①の資料として、最も顕著な実績 1 つのみを申請する。次の資料を PDF ファイルや画像ファイルとして準備し Web 出願システムにアップロードする。郵送は不要 ①説明したい実績について証明する資料(賞状、認定証、新聞、記録表等)の写し ②主催の分かる書類(①で分かれば不要) ③団体競技の場合は、登録メンバーであることを証明する資料の写し(メンバー表の本人の名前にマーカーまたは丸で囲む等、印を付けること。大会名の記載があること) ・諸活動の実績を証明する資料が無い場合も、実績証明資料「なし」の欄にチェックし、実績名等を書き入れて申請する
③	特色選抜・特別枠申請書 (小禄特別枠第 1 号様式)	Web 出願システム	●特別枠(部活動活性化)に出願する者のみ。志願者本人が自筆で記入すること ・Web 出願システムの「資格及び大会実績証明書等」でアップロードする。郵送は不要
④	特色選抜 Web 出願者名簿	中学校等準備	・Web 出願システムで志願情報を登録した者については、Web 出願システムから出力される名簿を添えて提出する ・特別枠(部活動活性化)で志願する場合は「特別枠(競技名)」と明記する ・学区外の志願者については、備考欄に「外」と記入する。 ・「副申書」、「自己申告書」、「配慮願い」等の添付の書類等がある場合は、備考欄になど、その書類名を記入する。
⑤	写真票 (特色第 3 号様式)	志願者から 中学校等へ	・出願の日前 6 か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦 4.5cm×横 3.5cm程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する

	特色選抜出願書類等	手続き	書類作成上の注意点
⑥	調査書(第4号様式)	中学校等準備	- 志望学科の欄は次のコース(専攻)のいずれかを記入 「普通」「情報ビジネス」「芸術教養(音楽)」 「芸術教養(美術)」「芸術教養(書道)」 - 成績や「⑤出席の記録」の3年の欄については、令和8年12月28日現在で記入する
⑦	住民票謄本等	志願者から中学校等へ	●普通コース及び情報ビジネスコースを希望する者で、かつ沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者のみ ・マイナンバー掲載なし、本人・保護者の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可 ・出願の日前3か月以内に発行されたもの
⑧	確認書(第5号様式)	志願者から中学校等へ	●次の①及び②の者のみ(Ⅱ募集定員及び通学区域参照) ①通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者 ②宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から出願する者
⑨	入学考査料等減免申請書(第10号様式)	志願者から中学校等へ	・特色選抜に係る入学考査料については、沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則11号)に定める入学考査料等減免申請書を提出したときは、免除するものとする
⑩	学区外高等学校入学志願書(別記様式(第4条関係))	志願者から中学校等へ	●学区外に住所を有する保護者が入学の日までに確実に学区内へ移転する者のみ(沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第4条第2項)

(4) Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者は次の書類も合わせて提出する。

	特色選抜出願書類等	手続き	書類作成上の注意点
①	入学志願書(特色選抜)(特色第1号様式)	志願者から中学校等へ	
②	諸活動の実績証明のための資料(小緑特色選抜第2号様式)	志願者から中学校等へ	・注意点は上記②諸活動の実績証明のための資料に同じ
③	特色選抜・特別枠申請書(小緑特別枠第1号様式)	志願者から中学校等へ	●特別枠(部活動活性化)に出願する者のみ ・注意点は上記③特色選抜・特別枠申請書に同じ
④	特色選抜志願者名簿(特色第2号様式)	中学校等準備	・注意点は上記④特色選抜 Web 出願者名簿に同じ

(5) 希望調査用紙

① 選択科目希望調査用紙

全志願者は、入学後の1年生で選択する科目についての希望調査用紙を次の手順で行う。

ア. 出願受付後、出身中学校等に郵送される「選択科目希望調査」を受け取る。

イ. 希望用紙の説明文をよく読み、保護者と相談の上、記入する。

ウ. 用紙にあるQRコードを読み取り、希望用紙に書いた通りに入力する。

エ. 面接日に控室にて提出する。

※ 一般選抜にて第2希望をした者は、そのコースの選択科目も忘れずに記入すること。

② 特進クラス希望調査用紙

普通コースを希望した者及び、一般選抜にて第2希望を含め普通コースを希望した者は、特進クラスを希望するかどうかの調査を次の手順で行う。

ア. 出願受付後、出身中学校等に郵送される「特進クラス希望調査」を受け取る。

イ. 希望用紙の説明文をよく読み、保護者と相談の上、記入する。

ウ. 面接日に控室にて提出する。

7. 選抜の方法

(1) 合否判定基準

次の①②③及び④(④は特別枠のみ)を基に、調査書等の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し選抜する。

① 学力検査〔250点〕 各教科 50 点満点×5 教科

- ・ 一般選抜の学力検査(各教科配点 60 点)のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点(各教科配点 50 点)を成績として取扱う

② 調査書等〔250点〕

ア. 教科の評定 (135 点) 全教科 3 年間を合計(評定×9 科目×3 年間)

イ. 特別活動 (20 点)

- ・ 生徒会活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員、部長などリーダー的活動を加算
- ・ 校内外の活動を問わず 1 項目を加算対象とする

ウ. 部活動/資格取得等 (85 点)

- ・ 県大会出場、九州(全国)大会出場など顕著な活動を加算。下記「(2)実績ランク表」に基づく
- ・ 「諸活動の実績証明のための資料」にて申請した 1 項目を加算対象とする

エ. 行動の記録 (10 点)

- ・ 行動の記録を総合的に判断し、点数化。

オ. その他、「総合所見」、「出席状況」も加味する

③ 面接〔A・B・C の三段階で評価〕

- ・ 個人面接(1 人 5 分程度)
- ・ 志望理由、将来の進路希望、高校生活における目標、中学校における活動状況などを確認

④ 実技審査〔300 点〕 ※特別枠(部活動活性化)志願者のみ

- ・ 種目別実技課題審査: 種目ごとに必要な基本動作などを実践的な活動で行う

(2) 実績ランク表

諸活動実績		A	B	C	D
(ア)文化活動	音楽	最高賞レベルのもの 県代表、全琉音楽祭出場	最高賞に次ぐもの 県金賞	県銀賞 吹奏楽コンクール B パート審査員特別賞	県銅賞 吹奏楽コンクール B パート奨励賞
	美術	最高賞レベルのもの 全国優秀賞 県最優秀賞・特選	最高賞に次ぐもの 全国入賞、県優秀賞	全国入選、県優良賞	県入選・佳作
	書道	最高賞レベルのもの 全国特別賞 県最優秀賞・特選	最高賞に次ぐもの 全国特選以上 県金賞・優秀賞	全国入選 県銀賞・優良賞	県銅賞・佳作
	文芸 意見発表等	最高賞レベルのもの 県最優秀賞	県優秀賞	県優良賞	地区優良賞以上
	琉舞等			新人賞以上	
	生徒会活動			生徒会長、副会長	生徒会役員執行部
(イ)スポーツ活動		県代表、県ベスト 4 以上 県選抜選手 県最優秀選手以上	県ベスト 8、地区 2 位以上 県選抜候補選手 県優秀選手	地区ベスト 4 地区選抜選手 地区最優秀選手	地区ベスト 8 地区選抜候補選手 地区優秀選手
(ウ)社会活動 (エ)ボランティア活動			表彰の規模が 全国レベルのもの	表彰の規模が 県レベルのもの	表彰の規模が 地区レベルのもの
(オ)資格・検定・段位取得の活動	英語検定 漢字検定 数学検定 書写検定	2 級以上	準 2 級	3 級	
	パソコン 関連検定		1 級レベル以上	3 級レベル以上	
	文書デザイン検定		1 級以上	2 級	3 級
	書道段位			8 段以上	
	珠算・暗算段位		5 段以上	3 段	1 級
	武道段位		初段以上	1 級	2 級

※ 表にない事項や検討を要する種目については、検討・ランク付けを行い、判定会議にて決定する。

※ 部活動外(クラブチーム等)の実績も該当する。

※ 各学年別に開催される大会(1,2 年生大会)や強化大会は、県大会以外は該当しない。

8. 面接・特別枠(部活動活性化)の実技審査

(1) 面接期日

- ① 期日:令和9年2月17日(水) 13:15 集合 13:45 開始
- ② 集合場所:本校体育館(2F)

(2) 受検に際しての注意事項

- ① 受検生は各中学校指定の制服を着用し、上着の左胸部に名札をつけること。

○	○	中	学	校
受	検	番	号	
氏			名	

※縦 5cm 横 8cm
※受検番号は算用
数字を用いる

- ② 靴袋を各自で用意すること。
- ③ 面接控室にて「6 出願手続き (5)希望調査用紙」を提出すること。
- ④ 体調不良等で受検が困難な場合は中学校を通して当日 11:00 までに本校へ連絡すること。

(3) 特別枠(部活動活性化)の実技審査

- ① 実技検査に必要な用具や服装等は各自で準備すること。
- ② 芸術教養コースの特別枠(吹奏楽・合唱・美術・書道)については下記「Ⅶ芸術教養コース特別枠の実技審査について」に沿って行う。
- ③ その他、不明な点があれば、中学校を通して本校へ連絡すること。

(4) 学力検査

- ① 学力検査は一般選抜と同じ3月3日(水)、4日(木)に行う。

9. 合格発表及び合格者オリエンテーション

(1) 合格発表

令和9年3月17日(水) 午前 9:00
本校にて発表(掲示)する。同時に、本校ホームページにも掲載する。
合格者に対し、中学校等の校長を通じて合格したことを通知する。

(2) 合格者オリエンテーション

令和9年3月26日(金) 午前 10:00 本校体育館にて
対象者は合格者と保護者とする。

IV 一般選抜

1. 出願資格

- ① 中学校等を令和 9 年 3 月に卒業見込みの者
- ② 中学校等を卒業した者(以下「過年度卒業者」という。)
- ③ 学校教育法施行規則第 95 条各号のいずれかに該当する者

2. 出願期間

- (1) 沖縄県立学校入学者選抜 Web 出願システム情報登録期間
令和 9 年 1 月 18 日(月)～1 月 28 日(木) 正午 12:00 まで
- (2) 書類提出期間
令和 9 年 2 月 1 日(月)～2 月 2 日(火) 午後 2:00 まで
※ 提出方法は、原則郵送でこの期限までに必着のこと。ただし、本校校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。

3. 出願手続

- (1) 志願者の手続き
 - ① Web 出願システムにおいて、必要な志願情報志願を登録する。(Web 出願システムを利用できない者は下記(5)参照。)
 - ② 下記「(4)出願書類等」及び(5)を中学校等の校長に提出する。

(2) 出身中学校等の手続き

- ① 志願者に係る下記「(3)出願書類等」及び(5)を出願期間内に一括して郵送にて提出する。

提出先 〒901-0151 沖縄県那覇市鏡原町 22 番 1 号
沖縄県立小禄高等学校長 竹西 正好 宛

(3) 県外の中学校等の出身者で保護者が県外に居住している志願者の手続き

- ① 保護者が志願者と共に沖縄県内に居住するときは、県外からの入学志願のための許可願(第 15 号様式)を令和 9 年 1 月 20 日(水)までに教育長に提出し、許可を受けなければならない。
- ② 保護者が沖縄県内に居住しないときは、上記①の「許可願」と共に県外からの入学志願のための許可願に関する身元引受書(誓約書)及び身元引受人の住民票を提出しなければならない。
- ③ 出身中学校等の校長は、上記①②、及び下記(4)(5)の出願書類等を出願期間内に一括して郵送にて提出する。

(4) 出願書類等

●印は対象者のみ

	一般選抜出願書類等	手続き	書類作成上の注意点
①	志願情報登録	Web 出願システム	
②	一般選抜 Web 出願者名簿	中学校等準備	- Web 出願システムで志願情報を登録した者については、Web 出願システムから出力される名簿を添えて提出する - 学区外の志願者については、備考欄に「外」と記入する。 - 過年度卒業生については、備考欄に「過」と記入する。 「副申書」、「自己申告書」、「配慮願い」等の添付の書類等がある場合は、備考欄になど、その書類名を記入する。
③	写真票 (第 3 号様式)	志願者から 中学校等へ	出願の日前 6 か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦 4.5cm×横 3.5cm程度のもとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する
④	調査書 (第 4 号様式)	中学校等準備	- 志望学科の欄は次のコース(専攻)のいずれかで記入 「普通」 「情報ビジネス」 「芸術教養(音楽)」 「芸術教養(美術)」 「芸術教養(書道)」 - 第二志望欄も第 2 希望コース(専攻)を同様に記入。<u>第 2 希望がない場合は斜線をひくこと</u> - 成績や「⑤出席の記録」の 3 年の欄については、令和 8 年 12 月 28 日現在で記入する

	一般選抜出願書類等	手続き	書類作成上の注意点
⑤	住民票謄本等	志願者から 中学校等へ	●第2希望を含め、普通コース及び情報ビジネスコースを希望する者で、かつ次の①及び②の者のみ ①沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者 ②志願者が県外中学校出身者で、保護者が県内に在住する者 ・マイナンバー掲載なし、本人・保護者の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可 ・出願の日前3か月以内に発行されたもの
⑥	確認書 (第5号様式)	志願者から 中学校等へ	●次の①及び②の者のみ(Ⅱ募集定員及び通学区域参照) ①通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者 ②宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から出願する者
⑦	入学考査料 2,200円	志願者から 中学校等へ	・中学校等の校長が郵送する際、現金書留または郵便為替で支払うこと
⑧	健康診断書 (第12号様式)	志願者から 中学校等へ	●過年度卒業者のみ ・募集年度の1月以降に発行されたもの
⑨	学区外高等学校入学志願書 (別記様式(第4条関係))	志願者から 中学校等へ	●学区外に住所を有する保護者が入学の日までに確実に学区内へ移転する者のみ(沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第4条第2項)
⑩	県外からの入学志願 のための許可願 (第15号様式)等	志願者から 中学校等へ	●上記(3)県外の中学校等の出身者で保護者が県外に居住している志願者のみ

(5) Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者は次の書類も合わせて提出する。

	一般選抜出願書類等	手続き	書類作成上の注意点
①	入学志願書(一般選抜) (第1号様式)	志願者から 中学校等へ	
④	志願者名簿 (第2号様式)	中学校等 準備	・注意点は上記④一般選抜 Web 出願者名簿に同じ

(6) 希望調査用紙(本校の特色選抜の面接時に提出済みの受検生は提出しなくてもよい。)

① 選択科目希望調査用紙

全志願者は、入学後の1年生で選択する科目についての希望調査を次の手順で行う。

ア. 出願受付後、出身中学校等に郵送される「選択科目希望調査」を受け取る。

イ. 希望用紙の説明文をよく読み、保護者と相談の上、記入する。

ウ. 用紙にあるQRコードを読み取り、希望用紙に書いた通りに入力する。

エ. 学力検査2日目の午後、面接控え室にて提出する。

※ 第2希望をした者は、そのコースの選択科目も忘れずに記入すること。

② 特進クラス希望調査用紙

普通コースを希望した者及び、第2希望で普通コースを希望した者は、特進クラスを希望するかどうかの調査を次の手順で行う。

ア. 出願受付後、出身中学校等に郵送される「特進クラス希望調査」を受け取る。

イ. 希望用紙の説明文をよく読み、保護者と相談の上、記入する。

ウ. 学力検査2日目の午後、面接控え室にて提出する。

4. 志願変更

(1) 志願変更

- ① 入学志願締切りの結果、志願者が定員を超えたコースに出願した者のうちで、出身中学校等の校長及び本校校長が適当と認めた者は、志願変更を行うことができる。
- ② 本校におけるコースの変更も志願変更手続きに準じて行うものとする。ただし、第2希望の変更については、志願状況に関わらず、取消や追加も含めて志願変更ができる。
- ③ 志願変更の可能な人員は、志願者数が募集定員を下回らない範囲内とする。
- ④ 志願変更希望者が、志願変更可能な人員を上回る場合は、公正な抽選によって志願変更を認める。抽選の日時は、後日(HP、FAX等にて)通知する。

(2) 志願変更申出手続き

- ① 期日:令和9年 2月5日(金) 午前9:00～午後4:00
2月8日(月) 午前9:00～午後2:00
- ② 場所:本校多目的室
- ③ 手続き
ア. 志願変更する者は、志願変更願(第6号様式)に必要な事項を記入し、出身中学校等の校長に提出する。
イ. 出身中学校等の校長は、変更が適当であると認める場合、所定の期間内にこれを提出する。
ウ. 出身中学校等の校長は、本校において志願変更を認められた者の出願書類等の返却を受ける。その際、入学考査料は返却しない。

(3) 取り下げ・再出願受付手続き

- ① 期日:令和9年 2月15日(月) 午前9:00～午後4:00
2月16日(火) 午前9:00～午後2:00
- ② 場所:本校多目的室
- ③ 手続き
ア. 志願変更をする者は、返却された入学志願書に変更すべき事項(※印の欄)を記入し、出願書類等を出身中学校等の校長を経て所定の期間内に提出する。
イ. 出身中学校等の校長は、入学願書取り下げ及び再出願後、Web出願システムにおける出願情報の更新を行う。
※ 第2希望のみの変更は、本校校長に「志願変更願」(第6号様式)で申し出るだけでよい。

5. 選抜の方法

令和9年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項の「3 一般選抜 (7)選抜の方法」及び本校の定める選抜規程による。

- ① 調査書その他必要な書類、選抜のための学力検査の成績等及び面接の結果を基にして行う。
- ② 一般選抜で行う学力検査は、中学校における国語、社会、数学、理科及び英語の5教科について、一般選抜志願者全員に対して行う。なお、英語については、聞き取り検査を実施する。
- ③ 学力検査を実施する教科の配点は60点とし、本校独自の学力検査は実施しない。
- ④ 一般選抜において調査書と学力検査等の比重は、5:5とする。
- ⑤ 本校の特色選抜にて面接を実施済みの受検生は面接を免除する。

6. 学力検査・面接

(1) 検査及び面接の場所

本校、及び県立学校入学者選抜要項に基づき指定された委託検査場または出張検査場

(2) 期日及び時間割表

時 限 月 日	集合時間・場所	第1時限	第2時限	昼 食 55分	第3時限
		10:00～10:50 (50分)	11:15～12:05 (50分)		13:15～14:05 (50分)
第1日目 3月3日(水)	9:15 本校体育館	国 語	理 科		英 語
第2日目 3月4日(木)	9:30 各検査場前	社 会	数 学		13:00～ 面 接

7. 受検の心得

(1) 学力検査までの注意事項

- ① 体調不良がある場合は、別室受検になるので、受検当日の 8:30 までに引率教諭に連絡する。
- ② 受検会場の下見は前日 3 月 2 日(火)の 15:30～17:00 の予定。検査場の中には入れないが、検査場内を廊下から確認することができる。

(2) 検査当日受検までの注意事項

① 当日の持ち物について

ア. 受検生は当日、中学校指定の制服を着用し、
右記の様式の白地の名札を左胸につけること。

イ. 弁当

ウ. 水筒

② 全体会・諸注意

ア. 1 日目の全体集合は 9:15、集合場所は体育館(2F)

イ. 集合場所の体育館は 8:30 頃開場予定

③ 体調管理

ア. 体調が悪い受検生は、集合時に申し出ること。

イ. トイレは、必ず休み時間に行っておくこと。

○ ○ 中 学 校
受 検 番 号
氏 名

※縦 5cm 横 8cm

※受検番号は算用
数字を用いる

(3) 受検時の注意事項

① 学力検査会場に持ち込めるもの(カバン等は控え室におく)

ア. HB 以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可。鉛筆は和歌・格言等が印刷されているものは不可。)

イ. プラスティック製の消しゴム

ウ. 定規(三角定規は可。ただし、分度器及び分度器機能付き定規は不可。)

エ. コンパス(分度器機能付きは不可)

② 上記①のほかに、机の上に置くことができるもの

ア. 鉛筆キャップ

イ. 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)

ウ. 時計(ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアラブル端末等も不可。)

エ. 眼鏡、ハンカチ(タオルを含むが、無地のみ可)、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)

③ 携帯電話は電源を切り、カバンの中に入れておく。ポケットなどには入れて持ってはいけない。

④ 学力検査会場に入室したら、机の受検番号を確認して着席すること。

⑤ 受検の際は、すべて学力検査監督者の指示に従うこと。

⑥ 学力検査監督者の「始め」、「止め」の合図を十分に守ること。

⑦ 解答が早く済んでも、「退場」の合図があるまでは離席しないこと。

⑧ 問題の解答は、注意事項や問いをしっかりと読んでから始めること。

⑨ 書き損じた場合は、消しゴムでしっかり消してからそれぞれの欄にはっきりと書くこと。

⑩ 検査中は質問を許さない。ただし、印刷に不明瞭なものがある場合は、無言で挙手すること。

⑪ 検査中にトイレに行きたくなった時、又は健康状態に異常が生じた場合は、無言で挙手すること。

⑫ 2 日目の午後、面接控室にて「3 出願手続き (6)希望調査用紙」の提出を行うこと。

8. 合格発表及び合格者オリエンテーション

(1) 合格発表

令和 9 年 3 月 17 日(水) 午前 9:00

本校にて発表(掲示)する。同時に、本校ホームページにも掲載する。

合格者に対し、中学校等の校長を通じて合格したことを通知する。

(2) 合格者オリエンテーション

令和 9 年 3 月 26 日(金) 午前 10:00 本校体育館にて

対象者は合格者(特色選抜合格者、追検査合格者を含む)と保護者とする。

V 第2次募集

合格者が募集定員に満たないコースにおいて、第2次募集を行う。

1. 出願資格

学力検査を受検し、県立高等学校に合格しなかった者。

※ 本校へ「一般選抜」学力検査を受検し、不合格になった者については、同一学科(第2希望も含む)に出願することはできない。

※ 通学区域は「Ⅱ募集定員及び通学区域 2. 通学区域」にかかわらず、全コースを県全域とする。

2. 出願期間

令和9年 3月18日(木) 午前9:00～午後4:00

3月19日(金) 午前9:00～午後2:00

※ 提出方法は持ち込み(受付場所:本校多目的室)、または郵送。郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、本校校長が特別の事情があると認めた場合はその限りでない。

3. 出願手続

(1) 手続き

① 志願者は、下記「(2)出願書類等」を出身中学校等の校長に提出する。

② 出身中学校等の校長は、志願者に係る下記「(2)出願書類等」を出願期間内に一括して提出する。

(2) 出願書類等

●印は対象者のみ

	特色選抜出願書類等	手続き	書類作成上の注意点
①	第2次募集入学志願書 (第8号様式)	志願者から 中学校等へ	
②	第2次募集志願者名簿 (第9号様式)	中学校等 準備	・Ⅳ一般選抜 3(4)②一般選抜 Web 出願者名簿の注意点参照
③	調査書 (第4号様式)	中学校等 準備	・内容は一般選抜で提出したものと同じものであること ・Ⅳ一般選抜 3(4)④調査書の注意点参照
④	確認書 (第5号様式)	志願者から 中学校等へ	●Ⅳ一般選抜 3(4)⑥確約及び証明書の注意点にある者のみ
⑤	入学考査料減免申請書 (第10号様式)	志願者から 中学校等へ	・領収書を添付する必要はない
⑥	入学考査料 1,100 円	志願者から 中学校等へ	・中学校等の校長が郵送する場合は、現金書留または郵便 為替で支払うこと

4. 志願変更

志願者は、入学志願締め切りの後、志願した高等学校、学科又はコースを変更(以下「2次志願変更」という。)することができる。

① 志願変更は令和9年3月23日(火) 午前9:00～午後2:00 本校多目的室にて受付を行う。

② 2次志願変更をする者は、第2次募集志願変更願(第11号様式)に必要事項を記入し、出身中学校等の校長に提出すること。

③ 出身中学校等の校長は、所定の期間内に本校校長に「第2次募集志願変更願」(第11号様式)を提出し、出願書類等の返却を受ける。その際、入学考査料と入学考査料減免申請書は返却しない。

④ 2次志願変更をする者は、返却された第2次募集入学志願書に変更すべき事項(※印の欄)を記入し、出願書類等を出身中学校等の校長を経て所定の期間内に本校校長に提出する。

※ 第2希望のみの変更は、本校校長に「第2次募集志願変更願」(第11号様式)で申し出るだけでよい。

5. 選抜の方法

令和9年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項の「4 第2次募集 (5)選抜の方法」及び本校の定める選抜規程による。

- ① 調査書その他必要な書類、選抜のための学力検査の成績等及び面接の結果を基にして行う。
- ① 学力検査の成績は、一般選抜の学力検査(各教科配点 60 点)のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点(各教科配点 50 点)とする。

6. 面接の実施

- ① 令和9年3月25日(木) 9:45 集合 10:00 開始 本校小会議室(管理棟 2F)集合
 - ② 受検生は各中学校指定の制服を着用し、上着の左胸部に名札をつけること。
- ※ 面接の際、「IV一般選抜 3(5)希望調査用紙」の提出を行うこと。

7. 合格発表及び合格者オリエンテーション

(1) 合格発表

令和9年3月29日(月) 午前9:00
本校にて発表(掲示)する。同時に、本校ホームページにも掲載する。
合格者に対し、中学校等の校長を通じて合格したことを通知する。

(2) 合格者オリエンテーション

令和9年3月29日(月) 午前10:00 本校体育館にて
対象者は合格者(第2次募集合格者)と保護者とする。

VI 追検査

インフルエンザなど学校保健安全法で出席停止の扱いが定められている感染症、急な入院等、やむを得ない事由により、学力検査等(以下、「本検査」という。)の全部又は一部を受けることができなかった者は、追検査を受検することができる。(本校に一般選抜受検を申し込んだ者に限る。)

1. 申し出等の日程及び手続

(1) 申し出期間

令和9年3月3日(水) 午前9:00～午後4:00
3月4日(木) 午前9:00～正午12:00

(2) 手続

追検査の対象に該当し、受検を希望する者は、申し出期間内に出身中学校等を通じて、「追検査受検希望届」(追検第1号様式)に本検査を受検できなかったことを証明する書類を添えて、提出する。

2. 学力検査・面接

(1) 検査及び面接の場所: 本校

(2) 期日及び時間割表

時間 \ 月 日	3月9日(火)
第1時限(9:00～9:50)	国 語
第2時限(10:05～10:55)	理 科
第3時限(11:10～12:00)	英 語
(12:00～12:45)	(昼食)
第4時限(13:00～13:50)	社 会
第5時限(14:05～14:55)	数 学
第6時限(15:10～15:20)	面 接

3. 受検の心得

期日以外は「IV一般選抜 7. 受検の心得」に同じ。

4. 合格発表及び合格者オリエンテーション

「IV一般選抜 8. 合格発表及び合格者オリエンテーション」に同じ。

Ⅶ 芸術教養コース特別枠(部活動活性化)の実技審査について

芸術教養コースの特別枠(部活動活性化推薦)について、「吹奏楽」「合唱」「美術」「書道」を申請する者に対して、それぞれ以下の内容の実技審査と面接を行う。

1. 吹奏楽 吹奏楽(金管・木管楽器、コントラバス、マリンバ、小太鼓)

(1) 次の①、②を演奏する。

① 音階を譜例に従い演奏する。

ア. 金管・木管楽器、コントラバス

各管、以下の調の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。(※ 全て実音表記)

B 管(変ロ長調、変ホ長調、ヘ長調)

C 管(ハ長調、ヘ長調、ト長調)

F 管(ヘ長調、変ロ長調、ハ長調)

Es 管(変ホ長調、変イ長調、変ロ長調)

♩ = 60 ~ 80



イ. マリンバ

ハ長調、ヘ長調、ト長調の中から譜例に従い演奏する。調は当日指定する。

♩ = 90 ~ 120



ウ. 小太鼓

当日指定のリズム(8小節)を初見演奏する。予見時間 1 分。(♩ = 80)

② 自分で選んだ自由曲を演奏する。(5 分以内)

(2) 面接

< 注意事項 > ・演奏する自由曲の楽譜のコピーを1部、出願時に提出すること。

・無伴奏とし、必ずしも暗譜でなくてもよい。

・楽器は各自持参すること。ただしマリンバ、コントラバスは本校の楽器を使用する。

(コントラバスの「弓」、打楽器の「マレット」、「パチ」は各自持参すること)

2. 合唱 合唱(女声、男声、ピアノ伴奏)

(1) 次の①、②を演奏する。

① 「夏の思い出」(江間章子作詞/中田喜直作曲)を歌唱、または伴奏パートを演奏する。(1 番のみ)

② 自分で選んだ自由曲を演奏する。(5 分以内)

(2) 面接

< 注意事項 > ・演奏する自由曲の楽譜のコピーを 1 部、出願時に提出すること。

・必ずしも暗譜でなくてもよい。

・CD 伴奏の音源使用可、ただし、CD、CD デッキは各自で準備すること。

・ピアノは本校のものを使用する。

3. 美術 鉛筆デッサン

(1) 次の①、②を課題とする。

- ① 事前課題 事前に A4 サイズ～B5 サイズ程度の画用紙に絵の具を使用して、実際に屋外の風景を見ながら描いた風景画を一点作成し、試験当日持参すること。(絵の具は自由)
- ② 指定課題 当日に、立方体を与えられた画用紙に鉛筆デッサンを行う。時間は 30 分。

(2) 面接(事前課題の説明もあります。)

<注意事項>・鉛筆デッサンに必要な用具一式(画用紙、画板は本校で準備)を各自持参すること。

4. 書道 自由課題・指定課題

(1) 次の①、②を課題とする。

- ① 事前課題 事前に作品を制作し試験当日に提出する。文字・書体・大きさ等は自由。
- ② 指定課題 当日に「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を半紙にそれぞれ 2 文字揮毫する。
時間は 30 分。揮毫する文字に関しては当日伝える。

(2) 面接

<注意事項>・当日は筆、墨、半紙を準備すること。そのほかの道具は本校で準備するが、各自で持ち込んだ道具を使用してもよい。